

株式会社群馬バス

「夢はスターペガサスを 運転すること」

寺島 涼さん

19歳

事業内容：乗合バス／貸切バス

現業：乗合バス運転手

令和6年より運転手として活躍



「地域みんなに寄り添える運転 手になる」

町田 侑菜さん

20歳

事業内容：乗合バス／貸切バス

現業：乗合バス運転手

令和6年より運転手として活躍



Q1. 運転手を目指したきっかけはありますか？

寺島さん：幼少期から旅行に行き景色を見ることや車を見るのが好きでした。自身の運転でお客様に楽しんでもらいたいと思い、貸切バスのドライバーを目指しました。決め手は高校時代の就職活動中のタイミングで求人が来たことと、**特例教習が受講できるタイミング**が重なったことです。

町田さん：求人を見つけて「私にもできるかな」と好奇心でチャレンジしました。免許制度の改正が後押しになった部分もあります。

Q2. 入社至る経緯を教えてください。

寺島さん：福利厚生充実度や、会社説明会の時に他のバス会社にはない高級貸切バス「**スターペガサス**」を目指すことができると知ったからです。

町田さん：転職で慎重になっていたため、何社かお話を聞きに行きました。養成制度の話をおお体の会社がしてくれましたが、特例教習が絡んできた際に曖昧な回答をする会社が多かった印象がありました。群馬バスは1対1で話し、**明確に答えてくれることが他社に比べ安心感が格段に違いました**。自分一人の為に時間を合わせて割いてくれて詳しい内容が聞けたことも印象的で入社決め手となりました。

Q3. 入社について、家族や友人の反応はありましたか？

寺島さん：入社当初は家族に心配されました。しかしながら、テレビや新聞の取材を見てもらった際に家族や友人に「**すごいね**」「**頑張ったね**」と言われて嬉しかったです。

町田さん：免許に係る制度の改正がまだ浸透しておらず、自分の年齢で2種免許が取得できることを**友人に驚かれることが多かった**です。家族は2024年問題の報道を見て運転手に悪いイメージを持っていたため、体調面を心配されていました。友人たちは運転手に対して高い壁を感じていたり、難しいイメージを持っている人が多いです。

Q4.入社前の印象と実際の印象等に違いはありましたか？

寺島さん：年齢層が高いので話についていけないと思っていましたが、実際は皆さん気さくで話しやすく、**先輩のサポートが手厚い**です。

町田さん：男性が多い、大きい車両を動かすには力も体力も必要だという点と労働環境に関する悪いイメージもありました。ですが、自身がデビューする頃には「改善基準告示」により、自動車運転者の時間外労働や拘束時間に上限規制がかかり、**長時間労働や各種制度が改正されて働きやすくなるイメージを持つことができました**。実際も働きやすいと感じています。先輩たちも温かい目で見えて面倒を見てくれて、仕事のこと以外にもプライベートの話も相談に乗ってくれます。

Q5.入社にあたり、学生時代にしておいた方が良かったと感じたことはありますか？

寺島さん：**バスのメカニズムや車両メンテナンスの知識**を習得しておくと思えます。自身は先輩に教えてもらいました。

町田さん：取得したほうが良い資格は特にありませんが、**接客業のアルバイト経験**があると、幅広い年齢層のお客様と円滑にコミュニケーションが取れると感じました。

Q6.運転手になり、嬉しかった経験を教えてください。

共通：お客様に降車時、目を見て笑顔で「**ありがとう**」と言ってもらえることです。

Q7.逆に大変だった経験、苦慮した経験はありますか？

町田さん：自動アナウンスや肉声でのアナウンスで「立たないで下さい」などと言っても通勤時間帯だと受け入れてもらえないことがあり、**どう伝えるか言葉選びを日々悩んでいます**。

寺島さん：精算の機械でエラーが起こった時は苦慮しました。

Q8.自家用車(普通車)との違いについて、また心がけていることはありますか？

共通：自家用車と違うところは注意点がいくつか増えるくらいだと感じています。車両の長さがあるため**内輪差に注意し、ミラーでよく確認**しています。運転操作は基本的に変わりません。急に立ち上がる方など、予測ができないことがあるため常に「**揺らさない、優しい発進・ブレーキ**」を意識しています。

Q9.御社における魅力的な制度等がありますか？

寺島さん：先輩のサポートが手厚いことです。また、福利厚生が充実していて、休暇も申請すれば取得できることです。

町田さん：合宿教習から戻ってきてからも自社教習が手厚く、最初はお客様を乗せず、慣れるまで一か月程度先輩の横乗りサポートがありました。運転以外にトラブルが起きた際の対応なども手厚く教えてくれます。自社教習期間が定められているわけではないので、**本人が納得し安心して運転できると思えるまで一緒に乗務してくれるので安心して路線デビューができました**。お客様を初めて乗せる時も先輩と一緒に乗務してくれます。

Q10.1日の勤務の流れを教えてください。

寺島さん：出勤(6時~7時)→車両点検→点呼→回送業務→乗務開始→乗務終了→戻って清掃→退勤。1年事務所で働いて先輩を見ていたので、変則的な業務ですが1~2週間で慣れることができました。

町田さん：寺島さん同様の意見です。一つのダイヤを一人が担当するのではなく日によってダイヤは変わります。朝起きるのが苦手で慣れるまでは大変でした。

Q1 1.全国的に運送事業者における運転手不足が深刻となっています。若手運転手から見て運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか？

共通：報道によりそもそも悪いイメージを持たれていると感じます。接客・難しい資格・年齢層が高く入りづらいなどのイメージを持っている人も多い印象です。業務内容もただ運転するだけなのか、何をするのかわからない人が多いと思います。

町田さん：業種が増えたり働き方が変わり、在宅ワークもできる時代になっている中、難しい資格を取得したり接客したりと若い人からしたら避けたい部分が多いため、他の業種へ行ってしまおうのではないかと感じています。

Q1 2.若年層が運送事業の運転手に興味を持つためにはどういったことが必要と考えますか。

寺島さん：まず多くの人抱えている悪いイメージを払拭することが大切だと感じます。年齢層が高く関わりづらいなどのイメージを変え、人間関係の魅力的な部分などを発信していきたいです。

町田さん：責任感が求められる分やりがいを感じられることや、もっとバス運転手が身近なものだと認識してもらうことが重要だと感じています。

Q1 3.若年層運転手を求める企業側についてどういったアピールが必要と考えますか？

寺島さん：「スターペガサス」があることが印象的でした。長時間労働・低賃金のイメージを払拭できるパンフレットやポスターを作成し、学校に掲載してアピールすることが必要だと思います。

町田さん：キャリアアップができること、貸切バスやスターペガサスを運転でき、同じ会社でキャリアチェンジができることを伝えることです。報道で見る悪い部分ではなくて子供たちに仕事内容を紹介できる機会が増えたらいいなと思っています。

Q1 4.最後にお二方の目指すキャリアアップと今後運転手を目指す若年層の方々へメッセージをお願いします。

寺島さん：運転が好きの方はぜひ選択肢の一つとしてほしいと思います。休暇制度の充実、改善基準の改正等があり前より自由な時間が増えているのは間違いありません。

町田さん：運転手個人の技術がそのまま会社や業界の戦力になるので、その分やりがいもあります。是非チャレンジしていただきたいです。

インタビュー時風景

株式会社群馬バス



株式会社群馬バス

求める人材

「責任感を持ち、ルールを遵守しながら業務に取り組める人」

人事担当者インタビュー

今回、若手運転手のインタビューに併せ、事業者の求める運転手像や自社のアピールポイントについて人事・採用担当者様にインタビューを実施しました。

☆株式会社群馬バス

羽鳥社長・関口部長・里見総務部次長・下田所長・高橋課長代理

Q1.今回、若手運転手を採用するに至った経緯を教えてください。

里見総務部次長：道路交通法が改正され、受験資格・特例教習のルールができて以前から出していた高校生の求人に再度力を入れて出したところ若手運転手たちが入社してくれました。

Q2.若手運転手を確保する上で工夫している点、その他の雇用促進に係る取組みがあれば教えてください。

羽鳥社長：学校などに置いてあるお仕事ブックにバス運転手に係る記事を掲載しております。

里見総務部次長：高校生はハローワーク求人だけの採用となりますが、若手運転手を確保するために、インターネットへの求人掲載も広く行っております。また、会社説明会を月に数回開催しており、転職を考えている方も、終業後に気軽に参加できるように、夜20時から説明会を実施するなどの工夫もしています。1対1での面談を行い、人柄を見ることや自社の気持ちを伝えることを大切にしています。

Q3.運転手に対する手当や会社の福利厚生等を教えてください。

羽鳥社長：今年度から乗務手当を拡充しました。貸切バスは宿泊手当、清掃手当など様々な手当が出ます。また年2回、上期下期に分けて事故がなく安全に運転できた方に、表彰と手当があります。

Q4.運転手の将来的なキャリアアップについて教えてください。

里見総務部次長：乗合の運転手としてスタートし、将来的には貸切バスの運転手に職制変更も可能です。貸切バスの運転手になれば最上級貸切バス「スターベガス」への乗務も目指すことができます。また運転業務以外にも運行管理者になったり、ドライバーとして採用された方が経験を積んで管理職になることも可能です。

関口部長：ドライバーとして採用された方が運行管理者になると現場をよく知っていることから、業務に関するきめ細かい配慮ができるので是非目指してほしいキャリアです。

Q5.どのような人材を求めていますか？

羽鳥社長：仕事に対する責任感を持ち、様々なルールを遵守しながら業務に取り組める人。

株式会社群馬バス

人事担当者インタビュー

Q6.若手運転手を雇用し社内に変化したことはありますか？

下田所長：男性職員や高い年齢層の方が多く、年齢の若い方が入ってきたことで**職場の雰囲気明るく良くなりました**。先輩も若手の職員を可愛がりよく面倒を見てくれています。**先輩の立場からすると、後輩の面倒を見ることで自分がステップアップしている実感がある**のではないのでしょうか。

Q7.事業者から見て運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか。

羽鳥社長：長時間勤務、低賃金、カスハラなどの悪いイメージを持たれたことが原因だと感じます。更に2024年問題の報道が拍車をかけたため、これを払拭すべく職場環境や待遇の改善に努めています。

Q8.御社におけるPRポイントを教えてください。

里見総務部次長：平成18年から**運転者の免許養成**制度を始めており、長野県の駒ヶ根自動車学校と提携しております。もちろん免許取得にかかる費用は会社負担です。近隣のバス会社の中では比較的路線が多く、希望すれば**貸切バス、さらにスターペガサスを目指すことができます**。互助会がありゴルフ部、ハイキング部などがあります。2年に1回社員旅行があり和気あいあいとしていて交流があるところもPRポイントです。

Q9.最後に運転手を目指す方々へのメッセージをお願いします。

里見総務部次長：若手の運転手を募集しているだけでなく、群馬バスの定年は65歳の為、50代半ばで役職定年を迎えられた方や60歳で定年退職した方でも、あと5年以上働くことができます。子供のころから運転手になるのが夢だったという方で定年退職した後に60歳でバス運転手になった方もいます。**少しでも興味があれば是非チャレンジ**してみてください。



群馬バスの貸切バス車両「スターペガサス」はファーストクラスの旅”をコンセプトに誕生した「高級感」と「ゆとり」のあるデラックスな特別仕様車となっています！！

今回、株式会社群馬バス様のご協力もあり若手運転手のインタビューを実施することができました。株式会社群馬バス様には感謝申し上げます。

インタビューを実施して、自身も運転手に対するイメージが大きく変わりました。取材したお二方の友人のように、バス運転手という職業を自身に身近なものと感じていない若者は多くいるかと思いますが、記事を読むことで少しでも身近に感じるのはないかと思っています。会社の雰囲気や風通しの良さが非常に伝わる時間となりました。

運輸支局M

インタビュー
後記